

第3章 基本理念と施策の方向性

1 基本理念

「健康で豊かな食生活を営むまち市川市」

2 基本目標

「生涯を通じた健康な食生活の実践による健康寿命の延伸」

3 基本施策

食育の実践者の環(わ)を広げよう！
～つなぐ・広がる いちかわの食育～

第3次計画では、第1次、第2次で掲げた基本理念及び基本目標を継承するとともに、第2次計画の「周知から実践」を、第3次計画では「食育の実践者の環(わ)を広げよう！～つなぐ・広がる いちかわの食育～」を基本施策として、市民一人ひとりの実践を支えるため、関係者及び機関のネットワークによるつながりを強化し、さらに新しい連携を生み出すなど、食育の環(わ)を広げ、市民の実践者が増えるよう支援していきます。

4 施策の展開における視点

第3次計画では、食育推進のための視点として「食で健康をつくる」「食を楽しむ」「食を大切にする」の3つを横断的にとらえていきます。

①食で健康をつくる（望ましい食習慣の実践）

栄養バランスのよい食事や朝食の大切さなどを知り、望ましい食習慣を身につける、適切な食事を選択することができるなど、健康的な食生活を営む力を育みます。

②食を楽しむ（共食、食文化継承、マナー）

家族や友人と一緒に食事をする、食事のマナーを身につける、地域の食文化を知り、継承していく、料理や季節の食材に関心を持つなど、食を楽しむことを育みます。

③食を大切にする（農水産業、流通、食品ロスの削減、感謝の気持ち）

食材、食品の生産、流通過程、食の安全性など、食べ物が食卓に並びまでの過程を学び、食べ物の大切さや食を支える人への理解を深めます。

また、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつや、食べ物を無駄にすることをもったいないと思うなど、食べ物を大切にする感謝の気持ちを育みます。

5 計画の体系図

第3次市川市食育推進計画の体系図

基本施策

食育の実践者の環（わ）を広げよう！

～つなぐ・広がる いちかわの食育～

基本理念

健康で豊かな食生活を営むまち市川市

基本目標

生涯を通じた健康な食生活の実践による健康寿命の延伸

指標

食育の実践者の増加

取り組みの視点 ①食で健康をつくる ②食を楽しむ ③食を大切にする

市民の取組

施策の柱

4 ライフステージに対応した食育の推進

妊娠期
乳児期
学童期
思春期
青年期
壮年期
高齢期

1 健康な体と豊かな心をつくる食育の推進

- (1) 家庭における健全な食生活の実践
- (2) 保育園、幼稚園、学校等における食を通じた子どもの健全育成
- (3) 地域における食育を通じた交流の促進

2 食の流通と食文化継承を通じた食育の推進

- (1) 地産地消の推進
- (2) 生産者と消費者の交流促進
- (3) 食文化継承の促進
- (4) 食の安全性の確保
- (5) 食の安全・安心に関する情報提供
- (6) 環境に配慮した食育の推進
- (7) 食事を共に楽しむ機会の促進

3 連携・協力体制を強化した食育の推進

- (1) 多様な関係者の連携強化
- (2) 食育の効果的な普及啓発
- (3) 保護者との連携による食育の推進
- (4) 事業者との連携による食育の推進
- (5) 関係機関、団体、行政のネットワークの充実

第3次計画

食育の実践者の環（わ）を広げよう！
～つなぐ・広がる いちかわの食育～

課題に対する方向性

第1、2次計画

食育の「周知」から「実践」へ

- 【成果】
- ・「食育」への関心、認知度は高値を維持
 - ・よく噛んで食べる市民、野菜料理を食べる市民の割合の増加
 - ・食育関係機関の連携の強化

- 1. 若い世代を中心とした食育の推進
- 2. 働く世代を中心とした食育の推進
- 3. 多様な暮らしに対応した食育の推進

↓
個人や家庭における食育の実践だけでなく、その実践を支えていく関係機関の連携や環境づくりの構築が必要である

基本施策 食育の実践者の環(わ)を広げよう！
 ～つなぐ・広がる いちかわの食育～

【今後の方向性】 ①若い世代の食育の推進 ②働く世代の食育の推進
 ③多様な暮らしに対応した食育の推進

施策の柱	取組項目
1 健康な体と豊かな心をつくる食育の推進	(1)家庭における健全な食生活の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣づくり ・ 望ましい食習慣の実践に向けた食育の充実 ・ 妊産婦や乳幼児に関する栄養指導の充実 ・ 健康づくりのための食育の推進 ・ 次世代を育む食育の推進
	(2)保育園、幼稚園、学校等における食を通じた子どもの健全育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育活動を通じた食育の推進 ・ 学校における食育の指導体制と指導内容の充実 ・ 学校給食を活用した食育の充実 ・ 食文化継承に向けた食育の推進 ・ 家庭、地域と連携した食育の推進
	(3)地域における食育を通じた交流の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動を通じた食育の推進 ・ 食を通じたコミュニケーションの推進
2 食の流通と食文化の継承を通じた食育の推進	(1)地産地消の推進 (2)生産者と消費者の交流促進 (3)食文化継承の促進 (4)食の安全性の確保 (5)食の安全・安心に関する情報提供 (6)環境に配慮した食育の推進 (7)食事を共に楽しむ機会の促進
3 連携・協力体制を強化した食育の推進	(1)多様な関係者の連携強化 (2)食育の効果的な普及啓発 (3)保護者との連携による食育の推進 (4)事業者との連携による食育の推進 (5)関係機関、団体、行政のネットワークの充実

取組の視点
 ① 食で健康をつくる
 ② 食を楽しむ
 ③ 食を大切にす

4 ライフステージに対応した食育の推進（市民の取組）

6 第3次計画の数値目標

第3次計画の数値目標は、第2次計画の検証を踏まえて整理するとともに、第3次計画における取り組みの成果を評価、検証するために設定するものです。

第2次市川市食育推進計画数値目標 14項目（参照 p24）

第2次計画の検証により、変更、削除等整理した項目 5項目

No.3、No.9 ……国と同様に項目を変更

No.5 ……メタボリックシンドロームを含めた生活習慣病予防・改善のため、また若い女性のやせ（痩身）予防の指標として項目を変更

No.11 ……食品の安全性に関する知識を有する割合は高く、自ら判断する項目に移行

No.12 ……郷土料理や伝統食（行事食）についての認知は高く、それらを含めた伝統的な食文化や作法等を次世代へ継承する項目へ変更

第3次計画に継承する項目 7項目

No.1、No.2、No.4、No.6、No.7、No.8、No.10

新たに選定した項目 1項目

No.13 ……第2次計画の課題として選定した項目

削除した項目 1項目

災害時の対応は総合的にとらえる必要があるため数値目標としては削除。
ただし、災害時の食の備えは食育の範囲で引き続き啓発を行う。

第3次市川市食育推進計画数値目標 13項目

【第3次食育推進計画数値目標】

No.	指標項目	対象	現状値 H29年度	目標値		
				市川市 (3次)	国3次	県3次
1	ほぼ毎日、1日3食 食べる人の割合	20歳以上	81.7% ※1	90%以上	—	—
2	朝食を欠食する市民の割合	小学生	3.6% ※2	0%を目指す	子ども0%	子ども0%を 目指す
		中学生	7.6% ※2			
		20歳代女性	22.5% ※3	若い世代 15%以下	若い世代 15%以下	若い世代 15%以下
		20歳代男性	19.4% ※3			
30歳代男性	15.9% ※3					
3	主食・主菜・副菜をそろえた食事を1日2回以上、ほとんど毎日食べている市民の割合	全体	67.0% ※1	70%以上	70%以上	70%以上
	主食・主菜・副菜をそろえた食事を1日2回以上、ほとんど毎日食べている若い世代の割合	20歳～30歳代	49.5% ※1	55%以上	55%以上	55%以上
	主食・主菜・副菜をそろえた食事を1日2回以上、ほとんど毎日食べている働く世代の割合	40歳～50歳代 男性	60.0% ※1	70%以上	—	—
4	1日2食以上野菜料理を食べる人の割合	全体	64.5% ※1	70%	—	—
5	普段から適正体重を維持している市民の割合 (生活習慣病の予防や改善のために)	30歳～50歳代 男性	普通 69.1% ※3	75%	—	—
		20歳～30歳代 女性	やせ 20.9% ※3	15%以下	—	—
6	学校給食における地場産物を使用する学校の割合	全体	100%	100%を 持続	—	—
7	食育に関心のある人の割合	全体	85.1% ※1	90%以上	90%以上	90%以上
8	直近1年以内に農林漁業体験に参加したことがある市民の割合	全体	農37.7% 漁7.7% ※1	40%以上	40%以上	40%以上
9	ゆっくりよく噛んで食べる市民の割合	全体	47.2% ※1	55%以上	55%以上	55%以上
10	朝食又は夕食を家族や知人等と一緒に食べる「共食」の回数	全体	64.3% ※1	週11回 以上	週11回 以上	—
11	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民の割合	全体	—	80%以上	80%以上	80%以上
12	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法(箸づかいなどの食べ方)等を継承し、伝えている市民の割合	全体	—	50%以上	50%以上	50%以上
13	塩分のとりすぎに気をつけている市民の割合	全体	62.2% ※1	70%以上	—	—

※1 現況：eモニター制度による食育アンケート調査(20歳以上集計結果)

※2 現況：市川市児童生徒のライフスタイル実態調査 (No.2 朝食欠食：週3日以上欠食者集計結果)

※3 現況：健康いちかわ21 市川市基礎調査 (2015)

※4 目標値：策定時設定数値目標